

## 第5回平塚市民スポーツフェスティバル 2018・03・25

平塚市弓道協会

弓道の部では9時から14時まで道場を開放し、小学生を含め約200人が弓を持ち、矢を射ることを体験して頂きました。多くの方が、「飛んだー・面白〜い・凄〜い」等と楽しんでいました。来年もまた、いらして下さい ^^



### 矢渡し

射手（いて）は、範士八段宮田融先生（平塚市弓道協会会長）です。“つくばい”での矢渡しです。

写真では見えにくいのですが、手前に射手を補佐する第一介添えが跪坐（きざ）をして控えています。

- ・矢渡し：行事の成功を祈願し、最初に射渡す儀式。
- ・つくばい：神前または高貴の方の前で行う射礼。



手前が第一介添え。

蹲踞（そんきょ）している第二介添えから、射られた2本の矢を受け取り、射手に渡します。



特設の大的（おおまと）に向かって矢を射るところです。

矢を射る人の位置からの的まで28m。

大的の間にある小さな的は直径36cmで、我々会員が稽古で使用している的のです。



体験中の皆さんです。  
あらぬ方向へ飛んだり、滑走したり、的中したり様々です。

体験では右手は素手で実施して貰いましたが、実際は磔（かけ）と呼ばれる鹿革で作られた堅牢なグローブのようなものをつけて弦を引っ張ります。



会員による持的射礼（もちまとしゃれい）です。5人が一定の法則に従い、それぞれの36cmの的に向かって2本の矢を射ます。

失敗したくない、あてたい等の雑念を払拭し、真を尽くすとの一念で臨みます。

しかし、これが難しく修練のしどころでもあるのです^^!